

経営協議会学外委員からの提言に対する対応（平成 25 年度）

開催日	議 題	意 見	対応状況
<p>第 1 回 25.6.20</p>	<p>平成 24 事業年度に係る業務の実績報告書（案）について</p>	<p>○ 経営協議会を有効に活用し，効率的に機能させていくために，学外委員に更に期待することや運営のあり方等についてどのように考えているか。</p>	<p>○ 本学の現状理解を得る取組みとして，学内施設の視察及び教育研究活動等について報告する機会を設け，経営協議会委員から多様な観点による貴重な助言・意見等をいただいた。</p> <p>[学内施設の視察]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農学部附属農場，工学部 1 号館及びオブティクス教育研究センターの視察を実施（平成 25 年 5 月 20 日（月）） <p>[教育研究活動等の取組発表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学部長等から，当該部局における教育研究活動等への取組を発表（平成 25 年 9 月 26 日（木）：第 2 回経営協議会） ・ 若手教員から，UU-COE の研究内容及び成果に関する発表を実施（平成 25 年 12 月 17 日（火）：第 3 回経営協議会）
	<p>ミッション再定義について</p>	<p>○ 教育方法については，コンピュータ学習が進む一方，創造的な学習が必要となる学生との二極化が進んでくることも重視する必要がある。授業方法等についても変化しているので，教員養成の役割も重要である。</p>	<p>○ 行動できる知性を養う教育を推進するため，基盤教育でアクティブラーニング科目を充実させた。また，学生が所属する学部において学ぶ専門科目のみならず，多様な他の領域の知識や能力を身につけさせるためのプログラム：Learning+1（学部生）を充実させた。</p> <p>さらに，平成 26 年度から新たに，Advanced Learning+1（大学院生）を開設する。</p> <p>○ 教員養成機能の全学的体制の充実を図るため，平成 26 年度から教職センターを設置することとした。</p> <p>○ 大学院教育学研究科において，教職大学院（教育実践高度化専攻）の設置及び同研究科既存の修士課程の改組について，平成 27 年度実施に向けた検討を進めた。</p>

<p>第 3 回 25.12.17</p>	<p>財務レポート 2012 について</p>	<p>○財務レポートが広く認知されていない感がある。財務レポートの存在を広く知ってもらうチャンスを作るべきである。</p>	<p>○公式ホームページによる公表並びに取引銀行及び同窓会等への配付のほか、栃木県経済同友会を通じて県内各企業等へ配付願うなど、PR に努めた。</p>
<p>第 4 回 26.3.25</p>	<p>平成 26 年度国立大学法人宇都宮大学年度計画（案）について</p>	<p>○「国際化に関する目標を達成するための措置」として、海外の卓越した大学との共同事業による国際交流活動の活発化等を計画しているが、どのようにアピールし、展開していくのか。</p> <p>○パデュー大学は、米国のインディアナ州にあり、同州は栃木県と姉妹提携を結んでいる。米国では古い歴史を持ったすばらしい大学である。積極的に交流を進めてほしい。</p>	<p>○海外の卓越した大学との国際交流活動については、平成 25 年から農学部が中心となってパデュー大学との交流を進めている。具体的には、平成 26 年度に交流協定を締結し、ワークショップの活動を深めていく予定である。</p>